

その他の電気機械器具製造業における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11~12	工場建屋内作業場所にて、成形フープ材の受入作業をしているとき、可動式脚立から受入材を持って降りたとき、脚立から床へ降りる際足を捻ってバランスを崩し転倒し、そばにあった台車の取っ手に左手をぶつけて骨折した。	51	50~99
2	16~17	荷物の積み下ろし作業中、トラックの荷台から足を踏み外し、右膝骨折した。	45	30~49
3	17~18	終業前に高さ2.6mにあるフープコーターのステージにのり、清掃などの片付け作業をしたあと、はしごを使い下りる途中で手を滑らせ落下した。目撃者がいないため推測となるが、設備から1.4mの事務机に背中を打ちつけ肋骨が3本折れ、そばの設備に手をぶつけて負傷したと思われる。	59	100~299
3	16~17	階段を使って郵便物を取りに行く際、4階から1階に下りる途中、床で滑り転んだ。	45	10~29
5	13~14	被災者は1人で組立用ブロック（1800×600×900、2.1t）を天井クレーンで片付け作業している際に、水車組立治具置き場にブロックを戻し、吊金具を取り外そうと隣接のブロック上にのぼり吊金具を外した後、乗っていたブロックの中央開口部（Φ300・深さ600）に左足を踏み込み受傷した。	49	1000~9999
5	9~10	就業場所3階から入館証の写真を撮るために1階に移動中、3階から2階に降りる階段において説明を受けながら降りていたため、説明に気を取られてしまい、また終業初日で不慣れな環境も重なり、階段を踏み外して両足首を捻挫した。	45	300~499
5	17~18	工場内現場で、建設機台用の船舶部品の溶接作業中に、使用していた梯子から降りようとした際、左足を踏み外して落下し、左足下腿部を打撲した。	47	1~9
				100

6	8~9	塗装作業で作業台（高さ90cm）に乗ってエアガンを取ろうとした時にバランスが崩れ、床面に落下した。その時に左足を強打した。	32	~ 299
6	21~ 22	事業場内の1階男子更衣室横階段にて、2F食堂で休憩後、職場へ戻る際、階段を踏み外し、転倒し負傷した。被災日は、夜勤勤務であった。	28	300 ~ 499
9	9~ 10	入庫した鋼材をトレーラ荷台からの荷降ろし作業を3名で行っていた。被災者荷台で玉掛け、作業者A:地ホイスト作業、作業者B:玉掛け、被災者は玉掛け作業完了後、トレーラ荷台最後部の一時待機場所へ移動した。作業者Aは被災者が一時待機場所へ移動したことを確認したが、ホイスト作業をするため、再度被災者を確認したところ、姿が見えなかった。ホイスト作業を中止し、トレーラ後方を確認したところ、仰向けで倒れている被災者を発見した。	62	500 ~ 999
10	17~ 18	被災者は派遣先において、仕分け業務に従事していた。現場担当者の指示により、商品棚のボルト締め作業中、足場にしていたパレット（商品棚にのせて足場にしていた）が、ズレてしまったため、不安定になった足場でバランスを崩し、転落（1.5m）して負傷した。原因は、現場担当者と被災者の危険予知が不十分だったことによる。	28	10~ 29
12	16~17	NT棟3階クリーンルーム内で、装置搬入のための養生作業を4人で開始した。被災者Aが脚立に約1m上がって作業を開始し、作業者Bは脚立を支えながら養生シートを渡して、被災者Aがテープで柱に固定した。被災者Aが脚立より降りようとした際、床と思い込み足をつこうとしたが、もう一段あったためバランスを崩し、右足に全体重が掛かる状態で着地し転倒した。病院で受診し、右足脛骨骨折で全治一か月と診断され、手術を実施した。診断名：右頸骨高原骨折（入院、全治3か月の見込み）	32	1000 ~ 9999
12	14~15	撚線機の作業場で、テープ交換を行ったあと、手すりのない梯子を使用して下に降りるときに、前向きに降りた。2~3段目（150cm）で足を踏み外し、足から落ちて負傷した。	35	100 ~ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html